



ハトダヨ
2019年
3月号

函館市中央図書館

編集・発行 函館市中央図書館 指定管理者 TRC 函館グループ

〒040-0001 北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号

TEL (0138) 35-5500 FAX (0138) 35-5525

市中央図書館だより

第35号 平成31年3月1日 発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼平成31年2月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／



- | | | | |
|----------------|----------|------------|----------|
| 1 沈黙のパレード | 東野 圭吾／著 | 11 大家さんと僕 | 矢部 太郎／著 |
| 2 すぐ死ぬんだから | 内館 牧子／著 | 12 フーガはユーガ | 伊坂 幸太郎／著 |
| 3 昨日がなければ明日もない | 宮部 みゆき／著 | 13 ボーダレス | 誉田 哲也／著 |
| 4 愛なき世界 | 三浦 しをん／著 | 14 国宝 上 | 吉田 修一／著 |
| 5 ふたりぐらし | 桜木 紫乃／著 | 15 国宝 下 | 吉田 修一／著 |
| 6 ブロードキャスト | 湊 かなえ／著 | 16 宝島 | 真藤 順丈／著 |
| 7 一億円のさようなら | 白石 一文／著 | 17 コンビニ人間 | 村田 沙耶香／著 |
| 8 ある男 | 平野 啓一郎／著 | 18 鏡の背面 | 篠田 節子／著 |
| 9 コーヒーが冷めないうちに | 川口 俊和／著 | 19 キンモクセイ | 今野 敏／著 |
| 10 下町ロケット [4] | 池井戸 潤／著 | 20 愉楽にて | 林 真理子／著 |

イベント告知

平成30年度 第8回郷土の歴史講座

「銭湯文化の歴史と地域色～その味わいと楽しみ」

講師 塚田 敏信 氏（まち文化研究所主宰）
開催日 平成31年3月23日（土）
時間 14:00～（開場13:30）
会場 函館市中央図書館 視聴覚ホール
定員 150名（申込み不要・先着順）
受講料 無料
お問合せ 中央図書館レファレンス担当 ☎35-5500



朝湯会、番台、ペンキ絵・タイル絵、ケロリン桶、永久腰かけ…。銭湯の歴史と変遷、そこで育まれたゆたかな文化の広がり、函館をはじめ各地の銭湯を通して味わいながら、その存在意義を考えてみませんか。

ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

タイトル：「**望み**」

棚：A25～A30
請求記号：F ｼｽ

著者：雫井 脩介 出版社：KADOKAWA（2016 年 8 月）

高校生の息子が帰ってこない。そして、息子の友人が殺害される事件が起こった—。

我が子を含め行方がわからない3人のうち、現場から逃走したのは2人。はたして息子は…加害者でもいいから生きていて欲しいと願う母。息子を信じたい、そして加害者家族という十字架を背負いたくない、それが死を意味していても被害者であって欲しいと思う父。結末を案じページをめくる手が止まりませんが、どちらの結果にしても辛くてやりきれないです。

もし自分だったら、と考えずにはいられませんでした。

タイトル：「**読書する人だけが
たどり着ける場所**」

棚：A31
請求記号：S019 ㍻

著者：齋藤 孝 出版社：SB クリエイティブ（2019 年 1 月）

タイトルに惹かれて本書を読み終えたとき、そこがどんな場所なのか、すでにその場に漂っているような高揚感と共に、自分が今までいかに漫然と読書をしていたかということに大いに気づかされました。本の内容を深く理解し、思考力・知識・人間性や人生そのものを深める為に、本を上手に読みこなす方法を、参考となる本を紹介しながら教えてくれています。それら紹介本のどれもが興味深く、今まで好んでいたものとは違うジャンルも読んでみたくなる様なワクワク感と、新たな読書欲を駆り立ててくれる、繰り返し読みたいと感じた本です。

タイトル：「**かりんちゃんと
十五人のおひなさま**」

棚：J23～25
請求記号：913 ㍻

さく：なかがわ ちひろ 出版社：偕成社（2009 年 1 月）

まだまだ寒い日が続いていますが、おひなさまを見ると春がすぐそこまで来ているんだな、と感じます。そんな時期におすすめしたいのがこの本です。

かりんちゃんのお家にやってきたのはひいおばあちゃんから譲り受けたおひなさま。かなりのお古ですが、たくさんのお道具がついた上等のものです。ある晩、かりんちゃんは三人官女がおしゃべりするのを聞いてしまいます。そこから、かりんちゃんとおひなさま達のかわいい冒険が始まります。楽しいストーリーはさることながら、どのおひなさまにも大切な願いがこめられていることに気づかされ、大人になった自分はぐっときました。

今の女の子達だけでなくかつての女の子達にも楽しんでいただけたらと思います。

館長随想（三十五）



いよいよ平成三十年度も最後の月になりました。学校や職場は年度で動くことが多いですから、年末以上に年度末はせわしなく感じる人も多いことでしょう。

三月二十三日には、今年度最後の事業として郷土の歴史講座を開催します。演題「銭湯文化の歴史と地域色くその味わいと楽しみ」を見て、これまでの歴史講座と色合いが随分違うなと思われたのではないでしょうか。講師の塚田敏信さんは、元々は高校の先生でしたが、在職からサブカルチャーの専門家として引っぱりだこの方です。私は二十年近くお付き合いをさせていただいていますが、一緒に話すと楽しいことが次から次へと飛び出します。高校を退職しても、大学から講師に招かれ、講演会や執筆に追われています。退職したら楽になると思ったら、もつと忙しくなっちゃった、と言われたことがあります。塚田さんは、古いけどなんだか面白い、おかしい建物を巡った新聞のコラムがあり、「ほっかいどうお菓子グラフィティ」（亜細亜社）のようなお菓子の本もあります。お菓子も銘菓・・・なのですが、高級品ではなくても、心に残るものを取り上げています。小沢のトンネル餅、池田のバナナ饅頭、札幌駅で売られているのに意外に知られていない柳もちなど、興味深いものばかりです。函館では千秋庵のどらやき、辨慶力餅の大福餅、銀月のやきだんごなどが載っています。

多彩な研究をしている塚田さんですが、本領は銭湯の研究です。「いらっしやい北の銭湯」（北海道新聞社）では、北海道中の銭湯を紹介しました。勿論函館の銭湯にも頁が割かれています。今回は、函館の銭湯の話を中心に、塚田さんの銭湯グッズコレクションも紹介されるでしょう。いつも入っているお風呂を、違った目で見るができるかもしれません。講演を聞かれたら、銭湯に入浴してみたくならないですか。

デジタル資料館

紹介

函館港名家及実業家一覧地図 [明治 30 年代] 1810658268



明治 30 年代に発行されたと推定されるこちらの地図。端には当時の商店等の店先の様子が写真で掲載されています。地図内には町名の他、当時の商店の場所も描かれている為、現在の街並みと見比べる際に役立つ資料となっています。



3 月生まれの作家をピックアップ！

早生まれって、子供の時には、ハンデに感じるかもしれませんが、有名作家にはとても多いです。
今回は、3 月生まれの作家とその作品を、ピックアップします！



芥川 龍之介	3 月 1 日生まれ	代表作：「蜘蛛の糸」「羅生門」「杜子春」など
黒川 博行	3 月 4 日生まれ	代表作：「疫病神シリーズ」「後妻業」など
重松 清	3 月 6 日生まれ	代表作：「エイジ」「ビタミン F」「ゼツメツ少年」など
宮本 輝	3 月 6 日生まれ	代表作：「流転の海」「優駿」「泥の河」など
安部 公房	3 月 7 日生まれ	代表作：「砂の女」「箱男」「燃えつきた地図」など
諸田 玲子	3 月 7 日生まれ	代表作：「お鳥見女房シリーズ」「天女湯おれんシリーズ」など
大沢 在昌	3 月 8 日生まれ	代表作：「新宿鮫シリーズ」「海と月の迷路」など
角田 光代	3 月 8 日生まれ	代表作：「八日目の蟬」「対岸の彼女」など
平岩 弓枝	3 月 15 日生まれ	代表作：「御宿かわせみシリーズ」「はやぶさ新八シリーズ」など
佐々木 譲	3 月 16 日生まれ	代表作：「エトロフ発緊急電」「警官の血」など
江國 香織	3 月 21 日生まれ	代表作：「きらきらひかる」「号泣する準備はできていた」など
京極 夏彦	3 月 26 日生まれ	代表作：「百鬼夜行シリーズ」「巷説百物語シリーズ」など
遠藤 周作	3 月 27 日生まれ	代表作：「海と毒薬」「沈黙」「深い河」など
小川 洋子	3 月 30 日生まれ	代表作：「博士の愛した数式」「ミーナの行進」など



まだまだ 3 月生まれの作家はたくさんいます、自分と同じ
誕生月の作家を探して本を読んでみるのも、
おもしろいかもしれませんね

